

地域ぐるみの教育

八幡平市教育委員会

教育総務課

2026.9.25 №1

「地域で育てる」子どもの豊かな体験から…

「人・もの・こと」つまり「人」＝地域の人々・「もの」＝自然や地域にある環境・「こと」＝伝統行事や祭りなどを通した体験は、子ども達に「喜び」、多くの「出会い」と「発見」をもたらします。また、将来の社会性に可能性を広げています。

「体験の格差」という言葉があり将来の社会性に影響を及ぼすとも言われています。八幡平市では地域が子ども達と積極的に関わることによって、豊かな体験を提供しています。コミセン連携による子ども達のこの夏の体験について紹介します。



【魚つかみの様子】

【魚つかみ・グランドゴルフ】 館市コミセン

生け簀に放した魚をつかみました。魚を追いかける子ども達！日常にはない経験です。予定していた川下りは、増水のため中止となり、代わりにグランドゴルフを楽しみました。60名が参加！



【グランドゴルフの様子】



【太鼓練習の様子】



【夏まつり当日の様子】

【夏まつり太鼓・なにゃとやら太鼓

練習・夏まつり】 荒屋コミセン

荒屋地区の小中学生が、夕方集まって練習に取り組みました。地域とかかわることで、自分の住む地域の良さを感じてほしいと願っています。夏まつりは200名が参加！

【夏の子もおはなし会】 松尾コミセン

佐藤敦士氏（クラウンシュガー）を招いて絵本ライブ、マジックショー、バルーンの剣によるチャンバラ等を楽しみました。「また、来年も来て欲しい！」と大満足の子も達でした。

【しおりづくりの様子】



【クラウンシュガーさんによるマジックと絵本ライブの様子】



【手づくりしおりワークショップ・おはなし会夏休み SP】 八幡平市立図書館

オリジナルの「しおり」を作る体験を通して、本や読書に親しむきっかけをつくることを目的としました。午前午後で86名参加！

「こわいおはなし」を通して、子ども達が物語の世界を楽しみ、読書への興味・関心を深めるとともに、普段とは異なる趣向のおはなし会を楽しみました。午前午後で42名参加！

どちらも、図書館をより身近に感じてもらい、今後の来館や読書推進につなげることを目指しました。

【寺田防災キッズ隊「はじめての防災ミッション」】 寺田コミセン

防災について学び、自分や家族の命を守る力と、地域で助け合う心を育むことを目的として実施しました。「寺田ジュニア防災隊 隊員見習い研修」として、火事を発見した際の第一行動ゲーム、着衣着火時の対応レクチャー、ヒヤリハット発見クイズ、水バケツリレーなどを行いました。33 名が参加！



【花輪線の旅・夏休みを中心にナニヤトヤラ太鼓練習】

五日市コミセン

小学生から中学生まで普段何気なく見ている花輪線、実際に乗車した子どもがいるか、そのあたりから一昨年からの引き続き事業です。荒屋新町駅から兄畑駅までの旅。車窓からの景色、館市コミセン前には館市の子どもたちが手を振って迎えてくれました。29 名が参加！

地域にあるナニヤトヤラ太鼓保存会。子ども達に声掛けしたなら「やってみたい」と即答。五日市夏祭りで披露しました。夏休み中に5日間延べ44名の小学生が練習に参加！



【ミッションの様子】



【花輪線の旅の様子】

【太鼓練習の様子】



【夏の寺子屋・デイキャンプ体験】

田頭コミセン

小学生と平高校生(7名)による勉強交流会。全国大会出場経験のある大野ドリムを講師に迎えモルック体験交流会実施。高校生にかき氷を作ってもらいみんなでいただきました。小学生24名参加！

3年目のデイキャンプ。薪割り、火おこし、薪ストーブを使ってごカレーライスを作りました。水でっぽう作りと水遊びもしました。子ども達からは「来年も参加したい」と好評です。小学生13名参加！



【モルックの様子】



【デイキャンプの様子】



【寺子屋の様子】

人とかかわることで...

コミセンを中心にした体験はそれぞれ魅力的で、子ども達に生きた喜びや感動をもたらします。体験と同時に「人」とかかわっています。人とのかかわりが少なくなった現代。多くの人とのかかわりは、これからの多様で変化の激しい社会を生き抜くための「社会とつながる力」を育てることになります。また、社会の中で「自分が必要だ」と感じられる感覚が社会とかかわるモチベーションにつながり、地域との結びつきを強めてくれるのではないのでしょうか。

- お知らせ 1. 三行詩の募集。思いを短いことばにまとめてみませんか。締切は9月30日
2. 第2回漢字検定開催日は、令和9年1月30日(土)となります。